



Juntos!!2022 中南米対日理解促進交流プログラム
学生会議の記録
(対象国：中南米諸国)

1. 交流概要

【目的】「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム（Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program）」の招へい及び派遣プログラムの過去参加者が、世界各国が直面する社会問題を日本の事例を通じて学ぶために本学生会議を実施しました。参加者は、将来への視野を広げるだけでなく、招へい・派遣の垣根を超えた参加者同士のネットワークを構築しました。

【参加者】

Juntos!!招へいプログラム過去参加者（2015～2021年度）アルゼンチン、ドミニカ共和国、ブラジルの日本の大学・大学院への留学生 計4名

Juntos!!派遣プログラム過去参加者（2015～2021年度）日本の社会人 2名

【訪問地】 静岡県掛川市

【日程】

■ 事前学習

1月20日～21日 【動画視聴】 「オリエンテーション Juntos!!2022 中南米対日理解促進交流プログラム」プログラム概要及び訪問地について

■ 本プログラム

1月21日（土曜日）【オリエンテーション】

【視察・体験・交流】キウイフルーツカンントリーJapan

1月22日（日曜日）【視察・体験】掛川城二の丸御殿、掛川城二の丸美術館、掛川城二の丸茶室

【ワークショップ】テーマ：「地域資源を未来につなげる」於：公益社団法人 大日本報徳社^(注)

(注) 村おこしの先駆者として知られる二宮尊徳の教えを普及する活動を行う。その大講堂は国の重要文化財として指定されている。

【報告会】「地域資源を活用したインバウンド事業提案」

【講評】キウイフルーツカンントリーJapan オーナー兼掛川観光協会会員 平野耕志氏

2. 記録写真



1月21日【視察・体験・交流】キウイフルーツカントリーJapan



1月21日【視察・体験・交流】キウイフルーツカントリーJapan



1月22日【視察・体験】掛川城二の丸美術館



1月22日【視察・体験】掛川城二の丸茶室



1月22日【ワークショップ】報告会準備



1月22日【報告会】発表資料

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ ドミニカ共和国 大学院生

100%満足です。スタッフは親切でフレンドリーで、掛川市と市の主要な課題について学びました。またアクティビティーはよく計画されていて、全員が他の参加者と交流して話を聞く機会を持つことができました。

◆ アルゼンチン 大学生

日本人や他の留学生と話ができて良かったです。またスケジュールに余裕があり、参加者同士で話をしたり散歩したりするなどしながら交流することもできて良かったです。

◆ ブラジル 大学院生

対面でのプログラムは地方の文化財や日本について学ぶことができ本当に良い機会でした。留学生は日本語、日本人は英語を使えて交流もできました。さらに、今まで行ったことのなかった掛川市への訪問はとても楽しかったですし、多くのことを学べて本当に感謝しています。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

とても刺激的な事業を掛川市で開催していただき誠にありがとうございました。掛川市の将来にも結び付く実りある事業だったと感じます。

5. 参加者の対外発信

	
<p>2023年1月21日（Instagram）アルゼンチンキウイフルーツカントリーを訪れました。ここは掛川市にあるキウイの有機栽培をしている農園です。近くにある天然の水資源、ソーラーパネルを利用した循環型農業を実践しています。キウイの皮は農園にいる動物の餌になっています。</p>	<p>2023年1月22日（Instagram）アルゼンチン地域再生についてのワークショップを行い、私たちは掛川市での3日間のプログラムでの学びをまとめ、インバウンド事業の提案を考えました。ここでもキウイをいただきました。</p>

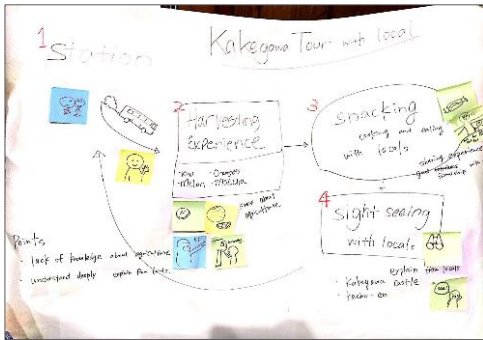
<p>2023年1月22日（Instagram）</p> <p>ドミニカ共和国二宮尊徳は、19世紀の日本の著名な農業指導者、哲学者、道徳家、経済学者です。</p> <p>彼は、武士や農民の間であまり理解されていなかった報徳の重要性を説きました。</p> <p>日本の学校、特に小学校では、二宮尊徳（金次郎）の銅像をよく見かけます。薪を背負い、歩きながら本を読んでいる少年像が一般的です。これらの像は、二宮が時間を見つけては本を読み、勉強していたという俗説を描いたものです。</p>	<p>2023年1月22日（Instagram）</p> <p>ドミニカ共和国掛川市の地域活性化のために、地域資源を考慮した上で、掛川市の未来のアイデアを考え、発表することができました。</p> <p>つまり、10点満点の体験となりました。Juntos!! 同窓会に参加させていただき、ありがとうございました。</p>

6. 報告会での参加者の地域資源を活用したインバウンド事業提案の発表（抜粋）

<p>提案 ①</p>	
	<p>「家族のための農場」</p> <p>子連れで楽しめる施設を提案します。</p> <p>客は、自分たちでテントを張るなどして滞在の準備をします。その後は、様々なアクティビティを家族全員が楽しんでいただけるようなコンテンツを用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バーベキュー ● 星が美しい戸外でのテントやツリーハウス泊 ● ターザンロープ ● 農業体験 <p>この施設に来る観光客を増やすことで周辺地域</p>

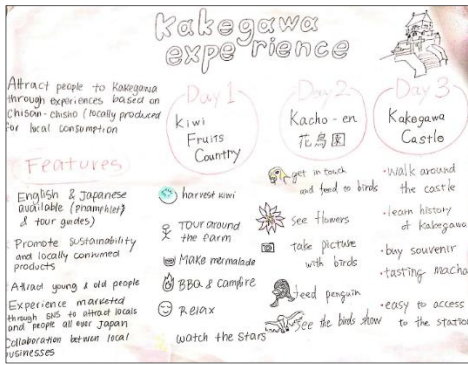
も活性化も目指します。

提案 ②



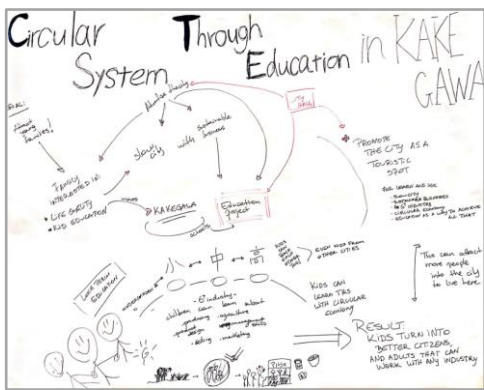
「地元の人と楽しむツアー」
 地元の人が、観光客を駅でお迎えすることから始まるツアーです。収穫体験、食事、観光を客と一緒にしながら、地元の農業や掛川市について紹介します。

提案 ③



「3日間の掛川体験」
 3日間のパッケージツアーを提案します。
 ● 1日目：キウイフルーツカントリー
 ● 2日目：花鳥園
 ● 3日目：掛川城
 それぞれのアクティビティーを楽しんでいただきます。日本語と英語のパンフレットを用意し、地元の物産品を宣伝・販売し、あらゆる世代の人たちにとって魅力的な街として発信していきます。

提案 ④



「掛川市における教育を通じた循環システム」
 子育て世代を惹き付ける魅力ある市として人口を増やすのが究極の目標です。市役所が先導して掛川市を宣伝すると同時に小中高が連携した教育プロジェクトを発足します。プロジェクトでは、「持続可能なビジネス」として、キウイフルーツカントリーJapan などにおいて農業、販売などの体験学習を行います。この教育プロジェクトを通して、子供は幼児期から農業や生産、プロダクト・デザイン、マネジメント・スキル、マーケティング、販売などといった生きる術を身に付けられます。その教育制度に賛同する子育て世代が移住するようになります。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）